

「第2回 川内地区・平佐西地区の浸水被害に関する検討会」 議事概要

主な意見

- シミュレーションの結果については、住民に説明をしてほしい。
- シミュレーションの結果について、実現象と再現計算は誤差が小さく十分に信用できると言うことが理解できた。
- 大雨の場合や春田川の水がどの程度まできた場合に、近くの住民にどのような形で周知し、避難体制を作っていくのか検討してほしい。また、防災無線やLINE（ライン）等で情報提供が行われているが、メディア等と連携をとりながら、テレビでも情報提供してほしい。
- 春田川の堤防・河川から低い所に住宅街が相当密集しており、そのような所にどのような対策を行っていくのか。今後の対応策を教えてください。
- 主ポンプ等に機械的な問題はなかったという理解だが、その上でハード側の対策があげられているが、改良の必要性も整理してほしい。
- 操作マニュアルの改訂にあたっては、使用する操作員にもチェックしてもらって操作員が対応しやすいものとしてもらいたい。
- 高齢の水門管理の方が、階段を昇降して操作をしているとの話を聞いたが、操作を連動させることはできないのか。
- 日頃の点検、訓練、機器更新は重要である。それでも、機械は故障するし、人為的ミスもありうるので、それを前提としてバックアップ体制の整備が必要である。
- 市・県・国において今回の災害を教訓にして提案があったハード面、ソフト面含めて両輪で薩摩川内市の地域防災力を高めるために、地区のコミュニティ協議会の皆様とも連携して進めてほしい。